

コミュニケーション学部報（2021年度）

1. 専任教員

教授	池 宮 正 才
	大 岩 直 人
	北 村 智 (教務主任)
	駒 橋 恵 子
	佐々木 裕 一
	柴 内 康 文
	田 村 和 人
	中 村 忠 司
	中 村 嗣 郎
	長谷川 倫 子
	光 岡 寿 郎
	南 隆 太
	本 橋 哲 也
	山 下 玲 子
	山 田 晴 通 (学部長)
	大 榎 淳
	北 山 聡
小 林 誠	
小 山 健 太	
松 永 智 子	
ピーター・ロス	
専任講師	大 橋 香 奈

2. 客員教授

安 斎 利 洋
板 谷 和 代
稲 垣 太 郎

3. 特任講師

稲 垣 秀 人
ヴァン・ロメル・ピーテル
フラナガン・ブルース

4. 特命講師

高 見 由 満 子
田 村 寿 浩

5. 非常勤講師

エバノフ恵智子
大 野 志 郎
大 谷 安 宏
草 野 清 子
志 岐 裕 子
島 田 由 香
鈴 木 麻 利 子
高 野 敦 伸
チェインバース・ガルシア
林 剛 大
藤 井 達 也
堀 口 剛
水 野 裕 子
山 岸 慎 司
吉 田 達

6. 学生が選ぶベストティーチャー賞表彰 ・受賞者 北村 智

【参考】東京経済大学コミュニケーション学部
「学生が選ぶベストティーチャー賞」実施要項
2015年4月1日 制定

1. 目的

東京経済大学コミュニケーション学部は、以下の目的をはたすため、「東京経済大学コミュニケーション学部ベストティーチャー賞」を設ける。

(1) 教育実践において学生から高い評価を得た

学部教員を「ベストティーチャー」として表彰する。

(2) 「ベストティーチャー」の高く評価された点や授業ノウハウを教員間で共有し、教育水準の向上を図る。

2. 賞の英文名称

本賞の英文名称は、Best teacher awarded by students とし、「BETAS」を通称とする。

3. 賞の授与

本賞は、学生アンケートの回答をもとに、以下の点について評価の高い教員を年に1回選出、表彰するものである。

- (1) 授業において、卓越した指導力で教育効果の高い授業を実践した者。
- (2) 教育方法の工夫又は改善に取り組み、顕著な教育成果をあげた者。
- (3) その他、ベストティーチャー賞にふさわしいと認められる者。

受賞対象者はコミュニケーション学部教員(コミュニケーション学部生が履修する授業担当者)とし、非常勤教員を含む。

受賞者は原則、1名とする。

4. 選考手続き

- (1) 学生アンケートの実施は、ベストティーチャー選考委員会が行う。
- (2) 実施手続きは上記選考委員会が別途定める。
- (3) アンケート結果をもとに上記選考委員会が受賞者を決定する。

5. 選考委員会の構成

- (1) 教務主任
- (2) 学部専任教員(若干名)
- (3) その他、学部長が指名する者
委員長は委員の互選とする。
任期は1年とする。

6. 表彰

受賞者には表彰状を授与する。

7. 選考結果

大学のウェブサイトを受賞教員名、授賞理由を公表する。

7. 卒業制作・卒業論文表彰

・最優秀賞(1点)

水野紫音「福島県川内村高帰村率の理由と「復興」,「村づくり」の軌跡～広報誌「広報かわうち」,川内村長への取材からみる村再生の糸口～」〈論文〉

・優秀賞(14点)

小川結理芽「書道×音楽=?」〈制作〉

渡部斐綱「『やりたいことがない就活生へ』」〈制作〉

伊原紀子「日本の英語教育の現状と学習者が World Englishes から学べる英語の多様性」〈論文〉

前川寛棋「左利きとその苦難:強みについての考察」〈論文〉

松本彩翔「現代社会におけるオンラインコミュニティの価値—オンラインゲームのプレイヤー間の会話に注目して—」〈論文〉

杉原寛葉「MMORPG プレイヤーのリーダーシップと現実世界の社会的スキルの関係性」〈論文〉
安西尋平「『なぜ若者は iPhone を使いたがるのか』—iPhone 普及率からみる若者の同調心理について—」〈論文〉

金子睦実「ロケツーリズムによる地域活性化とその持続可能性について—鎌倉をロケ地とする作品を事例に—」〈論文〉

川村哲史「『空き家』とは何か?—存在の耐えられない重さ—」〈論文〉

高橋和奏「母親のワークスタイルと大学のキャリア教育が女子学生のキャリア意識に与える影響」〈論文〉

原草太「電車移動における乗客の振舞い方—100 件のスケッチとインタビュー調査より—」〈論文〉

森彩乃「企業の公式インスタグラムが購買行動に与える影響について」〈論文〉

東井晴奈「日本のクラフトビール市場シェア3%への道—東京都ブルーパブ型ブルワリーの可能性から探る—」〈論文〉

山崎壮也「ゲームを通じた現実世界での交流
ポケモン GO から学んだ対面コミュニケーションの重要性」〈論文〉

**8. 東京経済大学コミュニケーション学部・
大学院コミュニケーション学研究科調査・実
験等研究倫理小委員会報告**

承認番号	申請者	研究課題名
2021-01	翁 嘉誉	医師患者関係の人類学的研究——日本の医療コミュニケーションを事例に
2021-02	北村 智	高齢者のスマートフォン利用内容と利用の障壁, 利用に対する支援についてのインタビュー調査 (2)
2021-03	山下玲子	日本人のメディア利用と国民意識・コスモポリタニズム意識3: コロナ感染リスクと東京五輪との関連を中心に
2021-04	山下玲子	日本人のメディア利用と国民意識・コスモポリタニズム意識4: コロナ禍での東京オリパラ開催への賛否を軸に
2021-05	山下玲子	日本人のメディア利用と国民意識・コスモポリタニズム意識5: コロナ禍での北京冬季オリ開催への賛否を軸に